

2日臨技発第20号
令和2年5月8日

都道府県臨床(衛生)検査技師会
会長 各位

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長職務代理
代表理事副会長 横地 常広



新型コロナウイルス感染症に関する調査結果について

謹啓 陽春の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、日本臨床衛生検査技師会の事業活動にご協力いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染者の拡大に鑑み、当会では元日臨技発第580号において「新型コロナウイルス感染症に係る病原体核酸検査(PCR)体制について」および2日臨技発第12号において「新型コロナウイルス感染症の検査体制調査について」の調査を依頼したところです。今回その2つの調査結果について集計がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

政府は、これまで、保健所や帰国者・接触者外来を主体に行政検査としてPCR検査を実施してきましたが、PCR検査が保険適用されたことから、地方自治体では、地域の医療崩壊を防ぐために独自に「地域外来・検査センター」やドライブスルーでの検体採取を進めています。その中で、私達、臨床検査技師が果たすべきミッションは、各地域や各施設におけるPCR検査体制の構築の支援および検体採取とPCR検査への人的支援となります。実際に積極的な活動を行っている県も見られるようになりました。今回の報告では別紙資料3として添付しましたので、貴会の今後の活動の参考にしていただければ幸いです。

度重なるお願いで恐縮ではございますが、この国難に立ち向かう臨床検査技師の積極的な活動への全面的な支援に向けて具体的な行動をお願いいたしますので何卒、よろしくお願いいたします。

謹白

記

【調査結果資料】

- ・別紙資料1
「新型コロナウイルス感染症に係る病原体核酸検査(PCR)体制についての全国調査結果」
- ・別紙資料2 (excel ファイル)
「新型コロナウイルス都道府県調査結果一覧表等」
- ・別紙資料3
「先進的な具体的取り組みについて：情報共有」

以上

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7
電話 03-5767-5541 FAX03-3768-6722
メールアドレス：jamt@jamt.or.jp
担当専務理事 深澤恵治、事務局 篠崎隆男